

事務事業チェックシート

事務事業No 716 事業名 小倉勝宝台管理事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	3	豊かな暮らしを支える住環境の整備
施策	4	生活排水対策の推進
取組方針	4	公共下水道事業・集落排水事業の適正管理

事業種別	継続		
事業期間	永年		
事業実施の根拠法令	水質汚濁防止法		
関連個別計画			
担当課・担当課長・Tel	河川港湾課	角田 憲彦	435-1090
関連課			

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	土木費		
	項	下水道費		
	目	下水道施設管理費		
	大・中事業	下水道施設管理事業 小倉勝宝台管理事業(処理施設)		

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にする)ための事業か 区域内の家庭排水等を浄化し、公共用水域の保全をめざす。		全体事業概要 排水処理等を行うため、適正な処理施設の管理を行う。			
事業内容		平成27年度 小倉勝宝台地域汚水処理施設の 運転管理事業の維持管理	平成28年度 小倉勝宝台地域汚水処理施設の 運転管理事業の維持管理	平成29年度 小倉勝宝台地域汚水処理施設の 運転管理事業の維持管理	平成30年度 小倉勝宝台地域汚水処理施設の 運転管理事業の維持管理	平成31年度 小倉勝宝台地域汚水処理施設の 運転管理の維持管理

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	10,933	10,404	11,171	11,172	12,078	10,852	12,078		12,078	
伸び率(%)	-	-	2.2%	7.4%	8.1%	▲2.9%	0.0%	▲100.0%	0.0%	-
人件費	正規職員	2,181	1,854	2,181	1,585	1,508	1,462	6,222		
	正規職員以外	1,310	1,042	1,310	316	257	359	239		
	小計	3,978	2,896	3,978	1,901	1,765		6,461		
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源(税等)	10,933	10,404	11,171	11,172	12,078	10,852	12,078		12,078	
所要人数(人)	正規職員	0.29	0.24	0.29	0.20	0.19	0.18	0.78		
	正規職員以外	0.48	0.48	0.48	0.14	0.10	0.13	0.1		
主な予算内訳	委託料7,635千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
活動指標	処理施設の適正な運転管理	件	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1		
			達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%		
成果指標	放流水の汚濁量(化学的酸素要求量:COD) t/年 (注記、実績値は年度毎流入水量で変わるので記載できない。) 負荷量実績値(t/年):分析値(mg/L)×放流量(m3)×1/1000000	t/年	目標値	8.2	8.2	8.2	8.2	8.2
			実績値	0.6	0.86	0.86		
			達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%		
	放流水の汚濁量(窒素) t/年 (注記、実績値は年度毎流入水量で変わるので記載できない。) 負荷量実績値(t/年):分析値(mg/L)×放流量(m3)×1/1000000	t/年	目標値	10.9	10.9	10.9	10.9	10.9
			実績値	1.1	13.1	13.1		
			達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%		

4 事業の評価

評価基準				
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している		横ばい
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい		一部見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき		他の主体との協働も可能
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む
[有効性]更に効果が期待できるか		できる		あまりできない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある
[効率性]事業費を抑制できるか		できない		制約はあるが可能性はある
[効率性]受益者負担の見直し		適正		負担は求められない
				減少している
				見直しが必要
				市が行う必要性は薄れている
				緊急性は薄い
				できない
				達成していない(70%未満)
				貢献度は低い
				できる
				見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	
見直し・改善内容	